

認知症に関する活動計画(概要)

鳥取県作業療法士会では、2015年に認知症・メンタルヘルスケア推進委員会を設置し、認知症施策において作業療法士の専門性を発揮できる人材の育成と、多職種と連携・協働し地域課題の解決を推進できるチームケアリーダーの育成を目的に活動している。

認知症研修会／人材育成

鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の助成を受け、年3回の認知症研修会を開催している。「認知症の正しい理解」「生活障害アセスメント」「家族・地域支援」など全6テーマに沿って研修を企画・実施し、受講状況を登録・管理することで、各種事業への協力派遣につなげる体制を構築している。2025年度末時点で、会員119名が全6テーマの受講を修了した。

昨年度の研修会では、「認知症の人の理解と作業療法」をテーマに、ライフストーリーカルテやナラティブの視点を学ぶとともに、VR認知症体験会を実施し、認知症を「自分ゴト」として捉え、理解を深める機会を創出している。



【VR認知症体験会の様子】

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

認知症の人と家族の会の協力のもと、2026年10月に「RUNTOMO 鳥取」の開催を予定している。若年認知症の本人が製作したカヌーによるスタートセレモニーを行い、その後、米子市内をたすきリレーでつなぐ企画としている。

当日は、YMCA米子医療福祉専門学校の学生や市内高校生によるボランティアのほか、通所リハビリテーション利用者や就労継続支援事業所、地域事業者（おもちゃ店等）の出店を予定しており、認知症の本人・家族、医療・福祉関係者をはじめ、多様な立場・世代が交流し、認知症への理解を深める機会を創出している。



【RUNTOMO鳥取啓発ポスター】

認知症予防関係

研究開発に協力した「とっとり方式認知症予防プログラム」の普及促進に取り組み、県老人クラブ連合会と協力して各種研修会でのプログラム紹介やデモンストレーションを実施している。また、全4回の体験版プログラムを作成し、県内10か所のモデル地区（サロン）で実施し、通信版としてLINE配信なども行っている。

認知症の人と家族の会との連携事業

県内3か所の「若年認知症のひとと家族の集い（にっこりの会）」へ会員を派遣し、活動プログラムの企画や、本人・家族の相談・支援に取り組んでいる。あわせて、本人ミーティングへの参画に向けた調整・整備を進めている。



【とっとり方式認知症予防プログラム】

その他

認知症初期集中支援チームやろうあ仲間サロン会での介護予防講座の講師派遣を行っている。今年度から刑務所における高齢者や障害をもつ受刑者の支援に向けた調整・関与を行っている。



【ろうあ仲間サロン会での健康教室】